

# ハートパル

2016年  
5月  
168号



## 男女共同参画・多様な視点で “防災・減災”に備えましょう！



4月、熊本県を震源とする巨大地震が発生し、甚大な被害に見舞われました。このように、近年、日本では大きな地震に何度も襲われています。

東日本大震災でも、その教訓として、男女のニーズの違いや多様な生活者の視点に配慮した防災・減災の対策、地域住民の自助・共助の取組の重要性が指摘されました。

わたしたちも、日頃から防災の意識を高めるために、個人や家庭、地域でできることを考え、実践していきましょう。

### 平常時から災害に備えましょう

防災は、「自助」が基本となります。被害を最小限にする減災対策として、個人や家庭で備えに努めましょう。また、災害時に「共助」の力を発揮できるように、日頃から地域活動に積極的に参画することが大切です。

#### ☆家族で話し合っておきましょう！

- ・家族の共通の連絡先や安否確認の方法、避難場所等を決めておきましょう。
- ・治療を受けている人は薬の種類や量、服用方法などをまとめて持ち歩きましょう。

#### ☆自宅を安全・安心な環境にしましょう！

- ・家具や電化製品等の転倒防止の対策をして置きましょう。
- ・窓ガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう。
- ・眠る前には、スリッパなどの履物を近くに準備しましょう。

#### ☆個人や家庭のニーズに応じて備蓄を工夫しましょう！

- ・食料や生活必需品などを、「非常時持出し品」と「非常備蓄品(最低3日)」に分けて備えましょう。
- ・食物アレルギーなどがある場合は、備蓄以外にも、災害時にどこで入手できるかを確認しておきましょう。

#### ☆防災訓練や学習会に参加しましょう！

- ・災害は、昼夜、平日・休日問わずやってきます。避難の仕方も異なるので、より実践的な訓練は参加しましょう。
- ・妊産婦や乳幼児のある保護者、高齢者、障害者など避難に支援が必要な人たちの避難誘導や介助について知ることも大切です。

- ・訓練をする場合は、炊き出しが女性の担当になるなど、性別や年齢等で役割を固定することのないようにしましょう。

### 自助

自分の身は自分で守る

### 共助

身近な人同士が助け合う

### 公助

市町村、県、国などが取組む

### 女性の視点から 揃えておく便利なもの (女性が選んだ持出しグッズ)

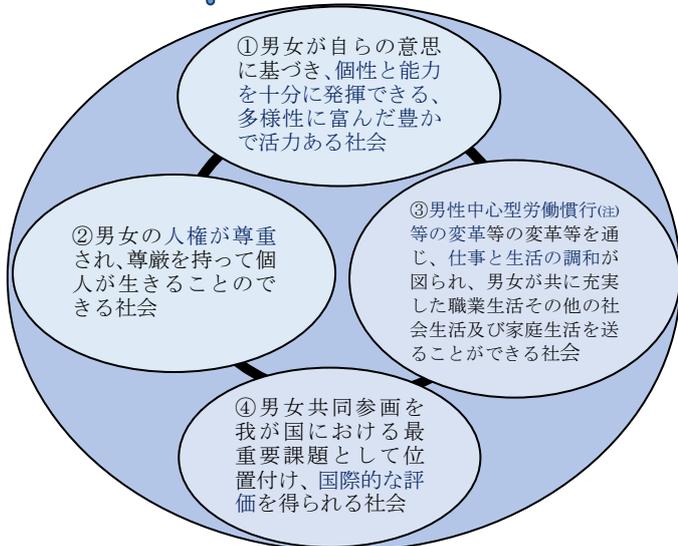
- 帽子、マスク
- 防犯ブザー・ホイッスル
- 大判ストール
- ヘアゴム
- パンティーライナー
- 携帯用ビデ
- 化粧品(オールインワン)
- 汗ふきシート
- サプリメント
- ドライフルーツ
- アロマ(エッセンシャルオイル)



※掲示した内容は、宮城県作成「みんなで備える防災・減災のてびき」及び京都市作成「KYOUTO わたしの防災ノート」を参考に作成しています。

基本計画は、28年度から5年間の男女共同参画社会づくりを方向付けるもので、私たちの目指す社会の姿です。国の4次計画では、4つの「目指すべき社会」と7つの「改めて強調している視点」があげられています。

### 目指すべき社会



(注)男性中心型労働慣行：勤続年数を重視しがちな年功的な処遇の下、長時間勤務や転勤が当然とされている男性中心の働き方等を前提とする労働慣行

### 4次計画で改めて強調している視点

- ①女性の活躍推進のためにも男性の働き方・暮らし方の見直しが欠かせないことから、男性中心型労働慣行等を変革し、職場・地域・家庭等あらゆる場面における施策を充実
- ②あらゆる分野における女性の参画拡大に向けた、女性活躍推進法の着実な施行やポジティブ・アクションの実行等による女性採用・登用の推進、加えて将来指導的地位へ成長していく人材の層を厚くするための取組の推進
- ③困難な状況に置かれている女性の実情に応じたきめの細かな支援等による女性が安心して暮らせるための環境整備
- ④東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、男女共同参画の視点からの防災・復興対策・ノウハウを施策に活用
- ⑤女性に対する暴力の状況の多様化に対応しつつ、女性に対する暴力の根絶に向けた取組を強化
- ⑥国際的な規範・基準の尊重に努めるとともに、国際社会への積極的な貢献、我が国の存在感及び評価の向上
- ⑦地域の実情を踏まえた主体的な取組が展開されるための地域における推進体制の強化

## お知らせ

### 「おおむら男女共同参画プラン」と「市民意識調査」について

大村市では、今年度、「おおむら男女共同参画プラン」を策定します。このため、今後の施策の基礎資料とするために「大村市男女共同参画に関する市民意識調査」を行います。調査は無記名で、内容は統計的に処理します。また、目的以外には使用しませんので、是非、率直なご意見をお聞かせください。提出期限は5月20日(金)です。ご協力をお願いいたします。

ハートパルでは、事業を通じて、男女の自立と男女共同参画社会の実現に取り組んでいます。「こんな講座があったらいいな。」「こんな事業に取り組んで欲しい。」などのご意見をお聞かせいただけたら嬉しいです！



## 講座報告

### 4/20(水)「おしゃべりカフェ」講座

ママチカラ up 講座の講師、藤井淳子さんを囲んで、「おしゃべりカフェ」を開催しました。

タイトルのとおり、おしゃべりしながら日頃の悩みを吐き出して、今後の生活が楽しく、元気に過ごせることが目的です。リラックスした雰囲気の中での講座に、「なるほど〜！と納得でき、ママたちと共感しあい、いろいろと学ぶことができて良かった。」と好評でした。



## 女性のための 相談室

無 料  
秘密厳守

- ・電話相談 ・面接相談（できれば事前にお電話を。）
- ・月曜～金曜 午前9時～午後5時
- ※ 電話番号は下記のとおり

《 連絡先・問合せ先 》 大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0825 大村市西三城町8番地 総合福祉センター3階

TEL: 0957-54-8715 Fax: 0957-54-8700

Eメール: danjyo-s@city.omura.lg.jp

利用時間 9:00～22:00

問合せ時間 8:30～17:30

(年末年始は休館)

